

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス（正義）という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

シリーズ「グローバル・ジャスティス」第72回 新たなモラル・コンパスを求めてー 『自壊する欧米ーガザ危機が問うダブルスタンダード』 刊行記念セミナー

講師：内藤正典（グローバル・スタディーズ
研究科教授）

三牧聖子（グローバル・スタディーズ
研究科准教授）

司会：岡野八代（グローバル・スタディーズ
研究科教授）



「ガザで起きていることはジェノサイドではないか」ー南アフリカが起こした訴えについて国際司法裁判所で審理が進む。イスラエルの最大の支援国であるアメリカは、「根拠がない」と一蹴したが、訴えへの支持と即時停戦を求める声はグローバルサウスを中心に広まり続ける。他方、欧米社会には、パレスチナ人の犠牲を指して「ジェノサイド」という言葉を用いたり、即時停戦を求めることすら「反ユダヤ主義」だとみなされ、封殺される異様な雰囲気広がる。

「法の支配」や人道。ガザ危機で欧米が見せている行動は、自らが掲げてきた理念を裏切っていないか。日本はどう行動すべきか。それでも欧米と歩調をあわせることが「国益」なのか。暴力や国益が渦巻く世界で、それでも理念や規範が持つ力を諦めないためにダブルスタンダードを徹底的に見つめ、批判する機会としたい。

日時：2024年5月17日(金)

19:00-20:30

会場：オンライン (Zoom)

※前日にZoomリンクをお送りします。

要事前登録



予約受付：5月16日(木) 12:00迄に
上記QRコードか下記URLよりお申込み
ください。

<https://forms.gle/iMUjgjVmGHhnxtVt7>

※合理的配慮が必要な方は、下記事務室までご連絡ください。

お問い合わせ：同志社大学グローバル・スタディーズ研究科

Tell: 075-251-3930

E-mail: ji-gs@mail.doshisha.ac.jp